

# 目次

序論	1
第1編 事業活動と生物多様性	4
第1章 生物多様性の状況	4
1. 地球規模で進む生物多様性の危機	4
2. 日本における生物多様性の危機	5
第2章 事業活動を取り巻く動向	6
1. 戦略計画 2011-2020 と愛知目標の採択	6
2. 持続可能な開発目標 (SDGs) の採択	7
3. ESG 投資の拡大	7
4. 自然資本への注目	8
5. ISO14001 の改訂 (2015 改訂)	9
6. その他の国内の動向	9
第3章 事業活動と生物多様性の関わり ～なぜ生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組むのか～	11
1. 生物多様性の保全と持続可能な利用の必要性	11
2. 生物多様性に関して事業者が生じうるリスクとチャンス	14
第2編 基本的な考え方	16
第1章 基本原則	16
第2章 考慮すべき視点	17
第3章 取組の進め方	19
1. 取組にあたっての基本的な考え方	19
2. 事業者共通の取組	20
3. 事業活動ごとの取組	22
第3編 事業者共通の取組	35
1. 体制の構築	36
2. 事業活動と生物多様性の関係性の把握	37
3. 方針・目標の設定	42
4. 計画の立案	45
5. 内部への能力構築	47
6. 外部ステークホルダーとの連携・コミュニケーション	50
7. モニタリング	55
8. 計画の見直し	57
第4編 事業活動ごとの取組	58
1. 原材料調達	59
2. 生物資源の利用	62
3. 生産・加工	66
4. 投融資	69
5. 販売	72
6. 研究開発	75
7. 輸送	78
8. 土地利用・開発事業	80
9. 保有地管理	83
参考編	89
○愛知目標の達成状況 (GBO4 による中間評価とカンクン宣言の採択)	89
○遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分 (ABS)	89
○国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J)	90
○パリ協定	91
○統合報告書	92
○グリーン調達	92
○生態系サービスの分類および具体例 (詳細版)	93
○生物多様性分野における事業者による取組の実態調査の結果概要	95